

感染症ニュース！

令和7年11月号

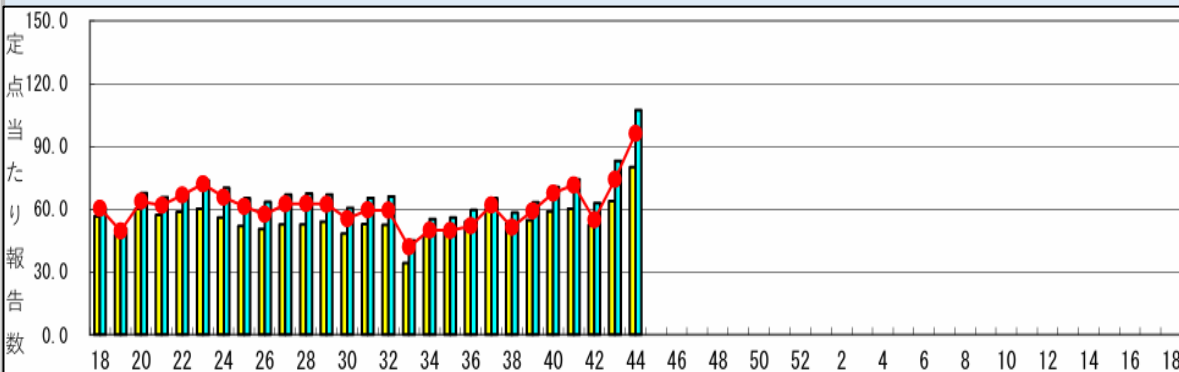
前月の神奈川県内の発生動向および国内外で気になる感染症を掲載しております。

★ 10月の注目感染症

■ 全国 ■ 神奈川県 ● 県域 ◆ 県域過去平均

① 急性呼吸器感染症

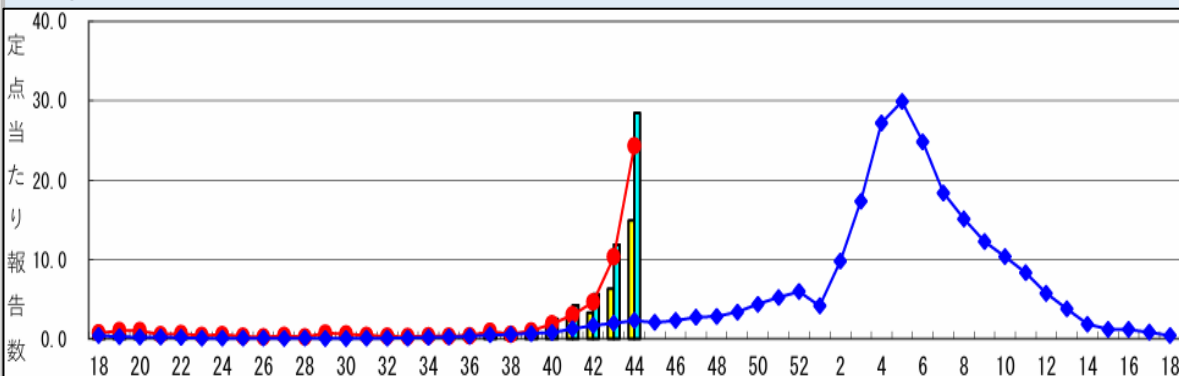
* 県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。



10月は、1～4歳を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①厚木保健福祉事務所大和センター管内
②平塚保健福祉事務所秦野センター管内
③厚木保健福祉事務所管内でした。

週

② インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）

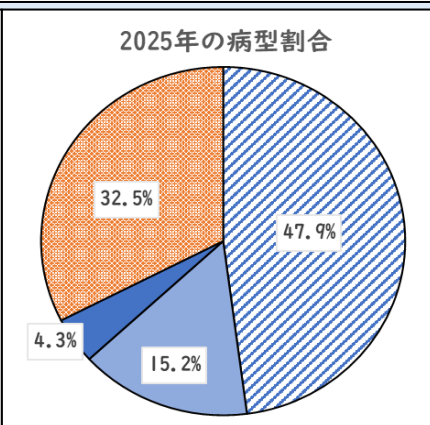
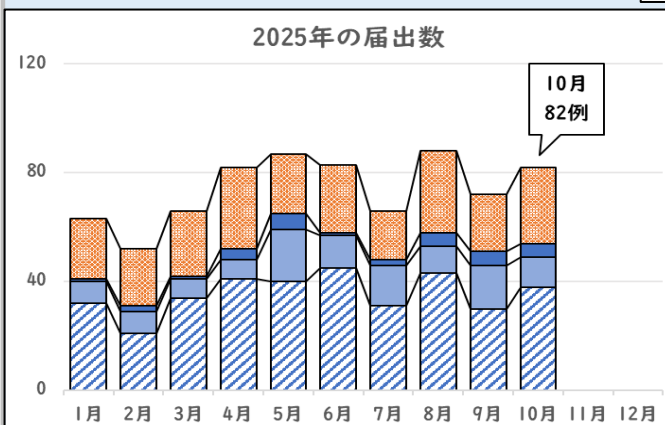


10月は、10～14歳を中心に報告がありました。特に定点当たり報告数が多い地域は、
①厚木保健福祉事務所管内
②川崎市
③平塚保健福祉事務所管内でした。

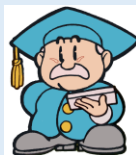
週

★ 結核の発生動向（11月4日時点）

■ 肺結核 ■ 肺外結核 ■ 肺結核+肺外結核 ■ 無症状病原体保有者



10月の届出数は82例でした。
2025年の累計患者数は741例となりました。
（疑似症患者2例を除きます。）



衛生博士

★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

・複数の諸外国で蚊媒介性感染症の感染リスクが高まっている。米国ニューヨーク州の保健局及び香港の衛生防護センターは、それぞれチクングニア熱患者の国内感染例を確認したと発表した。両地域とも、今まで輸入感染例は報告されていたが、渡航歴が無い患者の発生は初めてとしている。

（出典：ニューヨーク州<https://www.ny.gov/>、香港<https://www.brandhk.gov.hk/en/> 令和7年10月28日アクセス）

・国立健康危機管理研究機構（JIHS）によると、2025年の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）症例は11月4日時点で179例届出があった。主に西日本を中心に報告されていたが、最近では東日本でも報告されている。マダニに刺されないための適切な予防策（イカリジンを主成分とする忌避剤の使用、長袖長ズボンの着用、等）を講じることが推奨される。

（出典：国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト <https://id-info.jihs.go.jp/> 令和7年11月4日アクセス）

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。

お問合せはこちらまで↓↓

TEL:0467-83-4400(代表) FAX:0467-89-5211(企画情報部)



感染症情報センターHP

衛生

ちゃん

